

JR芦屋駅南地区（最終形）

映像	内容
* JR芦屋駅南口でリポーター	<p>【リポーター】            「1日におよそ6万人の乗降客が利用するJR芦屋駅。芦屋市の南の玄関口にふさわしいまちづくりを目指し、今、JR芦屋駅南地区の再開発が進められています。」</p>
* 駅南商業ビル屋上から撮影した南地区  * 駅前線歩道が整備されていない状況、駅前広場西線の路上駐車等を中心に撮影 ナンバーにボカシ  * モンテメール屋上から撮影した南地区全景 * 完成予想パース	<p>【ナレーション】            駅の南は交通安全や市の南側区域とのアクセスなど、さまざまな交通課題を抱えています。            このように、JR芦屋駅と国道2号を結ぶ道路は歩道が整備されておらず、また、駅前の道路は送迎用の駐車車両で溢れています。            芦屋市ではJR芦屋駅南側の「交通環境の再整備・強化」、「落ち着きやゆとりある駅前拠点の形成」、「地域アイデンティティの創出」の3つの方針を達成するために、まちづくり事業の取り組みが始まっています。</p> <p style="text-align: center;"><b>JR芦屋駅南地区の            まちづくり</b></p>
* 昔の芦屋駅の写真 撮影箇所とかテロップ * 開業当時のモンテメール ラポルテの写真 年代とかテロップ * 駅南商業ビル屋上から撮影した南地区  * 模型の横で都市整備課の谷崎美穂さん に話を聞くりポーター(会議室)	<p>【ナレーション】            JR芦屋駅は大正2年に国鉄芦屋駅として誕生。            昭和50年代から、駅の北側では大規模な駅前再開発が始まり、昭和55年には駅ビルとしてモンテメールが建設され、その後、再開発ビル「ラポルテ」とはペDESTリアンデッキでつながれました。</p> <p>【ナレーション】            そして、いま再開発が進められているJR芦屋駅南地区。都市整備課の谷崎さんにお話を伺い、</p>



<p>* 完成予想模型を使って説明</p>	<p>JRの南側に、バスやタクシーの乗り降りができるロータリーを整備します。</p> <p>そして、一般の方が乗り降りができる、送り迎えができるロータリーを整備いたします。</p> <p>それに加えて、駅から国道まで出る道路を広くして、その両側に歩道を設けてバリアフリー導線を確保します。</p> <p>このロータリーの下側には、自転車駐車が点在しているのを集約して整備することを考えています。」</p>
<p>* 完成予想パース</p>	<p>【リポーター】</p> <p>「こちらの再開発ビルはどのような建物なんですか？」</p> <p>【都市整備課・谷崎さん】</p> <p>「再開発ビルは11階建ての建物になります。</p> <p>4階から11階は住宅棟となりまして、2つに分かれた圧迫感のない造りになっています。」</p>
<p>* ペDESTリアンデッキ(VRの映像)</p>	<p>【ナレーション】</p> <p>1階と2階は商業施設で、大きさとしては駅前の店舗がお商売を継続できるスペースを確保しています。</p> <p>3階は市民の皆様が自由に利用できる公共・公益的な空間を作ります。</p> <p>一人でも多くの市民の方に使っていただけるような施設を目指しています。</p> <p>そして、新しくなったJR芦屋駅と再開発ビル、駅前広場は、ペDESTリアンデッキでつなぎます。</p>
<p>* 谷崎さんとリポーター(会議室)</p>	<p>【リポーター】</p> <p>「駅も改良されるんですか？」</p> <p>【都市整備課・谷崎さん】</p>
<p>* 工事の様子(エスカレーター)</p>	<p>「駅もリニューアルされます。</p> <p>今、駅の北口で行っている工事は、エスカレーターを整備する工事です。</p>
<p>* JR芦屋駅南口(工事風景)</p>	<p>南口で行っている工事は、駅が少し広くなりますので、その基礎工事を行っています。</p>
<p>* 谷崎さんとリポーター(会議室)</p>	<p>【リポーター】</p> <p>「ところで、新聞などでは、再開発事業は取りやめになったというような報道がありました。」</p>

<p>* 事業費縮減の金額は画面にテロップで表示</p>	<p>【都市整備課・谷崎さん】  「昨年3月と12月に芦屋市議会で再開発関連予算が否決されるという事態がありました。  しかし、再開発事業は兵庫県の認可を受けて、すでに始まっているものなので、取りやめになっている訳ではないです。」</p> <p>【リポーター】  「どうして、市議会で再開発関係の予算が否決されたんでしょうか。」</p> <p>【都市整備課・谷崎さん】  「昨年3月の議会では、増加する再開発関連の事業費が、市全体の財政を圧迫するという理由で否決をされました。市は議会の指摘を重く受け止めて、事業費を縮減する検討を始めました。  検討の結果、総額で201億と想定していた事業費の内、34億を縮減することができ、総事業費は167億円になりました。国からの補助金などを活用して、市の負担額は99億円となります。  しかし、総事業費の縮減を行った後の12月の議会において予算が否決され事業手法の見直しなどが求められています。」</p> <p>【リポーター】  「これからJR芦屋駅南地区はどうなってしまうんでしょうか。」</p> <p>【都市整備課・谷崎さん】  「駅前を整備する理由として、交通課題の解決が大きな目的の一つとなります。  市は、これまでたくさんの方々と話し合いを重ね、JR芦屋駅の南地区を整備するには『市街地再開発事業』が最もふさわしい、そう考えてきました。  ですので、これから市民の皆さんや市議会の皆さんに、これまで以上にしっかりと説明をして理解を求めていきたいです。」</p>
------------------------------	---

<p>芦屋駅長(写真)</p> <p>Q:JR芦屋駅南地区の再開発事業への期待について</p>	<p>【リポーター】</p> <p>「芦屋市民や関係団体からは、さまざまな意見が出ています。」</p> <p>【ナレーション】</p> <p>JR芦屋駅の駅長さんは</p> <p>「交通の拠点として、末永く芦屋のまちを往来されるお客様の生活を支える場所でありたいと思っています」</p>
<p>芦屋市自治会連合会分科会リーダー(写真)</p> <p>Q:JR芦屋駅南地区再開発について</p>	<p>芦屋市自治会連合会分科会リーダーは</p> <p>「平成 26 年からまちづくり協議会などで 40 数回の議論を重ねてきたが、市民の意見を十分聞いて進められていない印象。</p> <p>この少子化の時代に 11 階建てのマンションが必要でしょうか。計画のバスロータリーの渋滞を懸念している。</p> <p>市民の大多数が納得できるまちづくりにしてほしい。</p> <p>市民目線で適正な予算で最大の効果が得られる駅前整備を望む」</p>
<p>芦屋市身体障害者福祉協会会長(写真)</p> <p>Q:JR芦屋駅南地区のバリアフリー環境について</p>	<p>芦屋市身体障害者福祉協会の会長さんは、</p> <p>「駅前が整備され便利になれば、障害をお持ちの方も『外に出よう』という気持ちになるのでは」</p>
<p>芦屋警察署長(写真)</p> <p>Q:JR芦屋駅周辺の交通課題について</p>	<p>芦屋警察署の署長さんは</p> <p>「JR 芦屋駅周辺では違法駐車が続く現状にあります。送迎のためのスペースが確保できれば交通課題の解決につながると思います」</p>
<p>県立芦屋高校(映像)</p> <p>Q:JR芦屋駅南地区のまちづくりについて</p>	<p>【ナレーション】</p> <p>「まちづくり」への関心が高い県立芦屋高校のみなさんは、</p> <p>【男子生徒】</p> <p>「未来の芦屋市を考えるとしたら、やはり自分たちとか若い世代が中心となってくると思うので、若い世代にも芦屋市がこない感じに生まれ変わるんだよっていうのを伝えれば、すこしまた変わった考え方とかが生まれるのではないのでしょうか」</p> <p>【女子生徒1】</p> <p>「高齢者が多いと歩くことが困難な人とかもいると思うので、タ</p>

<p>* ペDESTリアンデッキ (VRの映像)</p>	<p>クシーとかバスという交通機関が増えるのは本当にすごく良いことと思っています」</p> <p>【女子生徒2】</p> <p>「この再開発でJR芦屋と言ったら南側と言ってもらえるような街になって欲しいなと思います」</p> <p>【ナレーション】</p> <p>JR芦屋駅南地区のまちづくりの歴史と、今、どのようなことが話し合われているのかを伺うことができました。</p> <p>しっかりと議論がされて、より良いまちづくりが進められることが望まれます。</p>
------------------------------	---